**自己評価シート令和6年度反省**

**１，本園の教育目標**

幼児の主体的な遊びを十分に確保し、遊びを通じて心身ともに強い身体作りをすることや、遊びの中で友達や保育者と関わることで幼児期にふさわしい社会性の育成を目指している。また、恵まれた自然環境の中で様々な体験をすることで、情操豊かで健全な育成を目指す。

**２，本年度重点的に取り組む目標、課題**

　・子ども主体の遊びへの取り組み

　・子どもの興味がわく楽しい保育を目指して

　・自主的な挨拶の指導

**３，評価項目の達成、および取り組み状況、反省点など**

**【子ども主体の遊びへの取り組み】**

　＜前期＞・○～９人　　・△～６人　　・×～０人

・子どもの遊びを見守り、尊重して遊べていたと思う。

・子どもに問いかけ、子どもの意見を保育の中に取り入れることが出来た。

・子ども達のやりたいことを毎日行うことが出来た。

・子ども達の提案した遊びを発展して楽しめた。

・子ども達の意見を聞くように心がけているが、そういかない時があった。

　＜後期＞・○～１０人　　・△～５人　　・×～０人

・子ども達で遊びを発展させることが多かった。

・保育活動の中に、なかなか子ども達の意見をすぐに取り入れることが出来なかった。

・子ども達の意見を優先することが出来ないことがあった。

・隙間時間に子どもの意見を取り入れ保育に生かせることが出来た。

　**【幼児の主体的な活動の尊重】**

＜前期＞・○～６人　・△～８人　・×～１人

・出来る限り子ども達の意見を取り入れる活動をしてきた。

・子どもに発言の場を用意し、意見を聞きながら保育を行うことが出来た。

・制作など、子ども達の意見を活かして活動することが出来た。

・設定保育の中で子ども達の意見を活かすことが難しかった。

・先生主体になってしまうことが多かった。

・時間に余裕がない時もあり、出来ない事も多かった。

　＜後期＞・○～８人　・△～７人　・×～０人

・子ども達の意見が増えて、いろいろ楽しめた。

・制作では、子ども達の意見を取り入れることが出来た。

・保育の中で、子ども達が考え工夫して取り組むことが出来た。

・行事に時間が追われて、幼児主体の保育が出来ない事があった。

・保育者主体になることがあった。

**【子どもが楽しめる活動の創意、工夫】**

＜前期＞・○～9人　・△～６人　・×～０人

・自分なりに工夫した活動が行えた。

・制作など楽しみながら取り組むことが出来た。

・子どもたちの特徴を踏まえて、様々な活動に取り組むことが出来た。

・制作では材料の工夫が足りない事や、配慮が足りない部分があった。

・子どもの興味や意欲を引き出すため、創意、工夫が出来た。

　＜後期＞・〇～１１人　・△～４人　・×～０人

・遊べる楽しい制作に取り組めた。

・子どもたちが考えて楽しめる活動に取り組むことが出来た。

・保育活動で、様々な材料を使って楽しむことが出来た。

・先生方でアイデアを出し合って、学年で楽しめる活動を行うことが出来た。

・子ども達のアイデアを活動に発展させて楽しむことが出来た。

・子どもたちに合わせた活動を考え、楽しく取り組めるようにすることが出来た。

**【日常生活での挨拶の取り組み】**

＜前期＞・〇～９人　・△～５人　・×～１人

・毎日声をかけ、挨拶の大切さを日ごろから伝えることが出来た。

・園外での活動の時にも挨拶が自然に出来るように伝えてきた。

・自発的に挨拶できるように日ごろから促すことが出来た。

・保育者主導の挨拶が多かった。

　＜後期＞・〇～１１人　・△～４人　・×～０人

・働きかけにより、子ども達が積極的に挨拶出来るようになった。

・前期から見ると出来るようになった子どもが増えた。

・挨拶が習慣化するよう促せた。

・毎日の声掛けにより園外活動の時や、幼稚園に来た方に対しても挨拶出来るようになった。

**４，総合的な評価結果**

**・〇～１３人**

・子どもの興味から保育を考え、季節に合わせた遊びに取り組み、保育の工夫が出来たと思う。

　環境の工夫や、子どもの様子をもう少し教員間で発信し合えたら良かったと思う。

・公開保育が行われたこともあり、子ども主体の活動に取り組むことが出来ていた。

・前年度より、気を付けながら保育に当たることが出来た。研修に参加したことで、自分の保育を見つめ直すいい機会となった。

・１年間を通して子どもが楽しめる活動、興味を引き出す活動を意識して保育に当たることが出来た。

・保育者が話し合いを重ね、子どもの興味が湧く楽しい保育を行うことが出来た。

・１年間子どもの興味が湧く活動が行えた。主体性の部分では、年少児では難しい面があった。

・子どもたちの発想を生かして、保育を行うことが出来た。

**・△～２人**

・子ども達が考え行動することや、楽しく参加できるような取り組みは各学年出来ていた。

　挨拶は学年によって差が出ていたと思う。

・子どもの自発性や主体性を意識して保育が出来たと思うが、全体的にはもう少しだと思う。

**５，今後取り組むべき課題**

・異年齢保育を通しての学び

・子どもの興味がわく楽しい保育を目指して

・子ども主体の遊びへの取り組み